

入試のスケジュール

選抜名		特別選抜	一般選抜
実施学科・ 設置校など		<ul style="list-style-type: none"> ◇工業に関する学科（デザイン系）／市立工芸・岸和田市立産業 ◇体育に関する学科／市立桜宮・市立汎愛・摂津・大塚 ◇音楽科／夕陽丘 ◇美術科／総合造形科／市立工芸・港南造形 ◇演劇科／市立咲くやこの花 ◇芸能文化科／東住吉 ◆エンパワメントスクール ◆クリエイティブスクールⅠ部・Ⅱ部 ◆昼夜間単位制／市立中央 	<ul style="list-style-type: none"> ◇全日制のすべての学科（特別選抜を行う学科を除く） ◆クリエイティブスクールⅢ部 ◆定時制 ○通信制
	選抜資料	<ul style="list-style-type: none"> ◇調査書、自己申告書、学力検査（5教科）+実技検査 ◆調査書、自己申告書、学力検査（3教科）+面接 	<ul style="list-style-type: none"> ◇調査書、自己申告書、学力検査（5教科） ◆調査書、自己申告書、学力検査（3教科） ○調査書、自己申告書、面接

2月	中旬	出願期間 2/13、2/14 (音楽科は 2/5、2/6)	※ 2019年度の主な入試日程を記載。
	下旬	学力検査等 2/19、2/20	
3月		合格発表 2/27	
	上旬	× 特別選抜合格者は、 一般選抜に出願できません。	出願期間 3/1、3/4、3/5 (通信制を除く)
	中旬		学力検査等 3/11
	下旬		合格発表 3/19
			2次選抜 3/22

入試当日のスケジュール

<特別選抜>

時限	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	
教科	国語	数学	英語	理科	社会	
問題	A・B	A・B	A・B	リスニング 共通	共通	
時間	40分	40分	40分	15分	40分	
時刻	9:00～ 9:40	10:00～ 10:40	11:00～ 11:40	11:50～ 12:05	13:00～ 13:40	14:00～ 14:40
配点	45点	45点	45点	45点	45点	

実技検査（学力検査の翌日、音楽科の視唱・専攻実技は学力検査の前に実施する）

学科	デザイン系	体育	音楽	伝統文化	演劇
種目	基礎的描写 総合的表現	運動能力 運動技能	聴音	視唱 選考実技	朗読 □頭試問 身体表現 歌唱表現
配点	75点 75点	45点 180点	20点	30点 100点	50点 50点 75点 75点

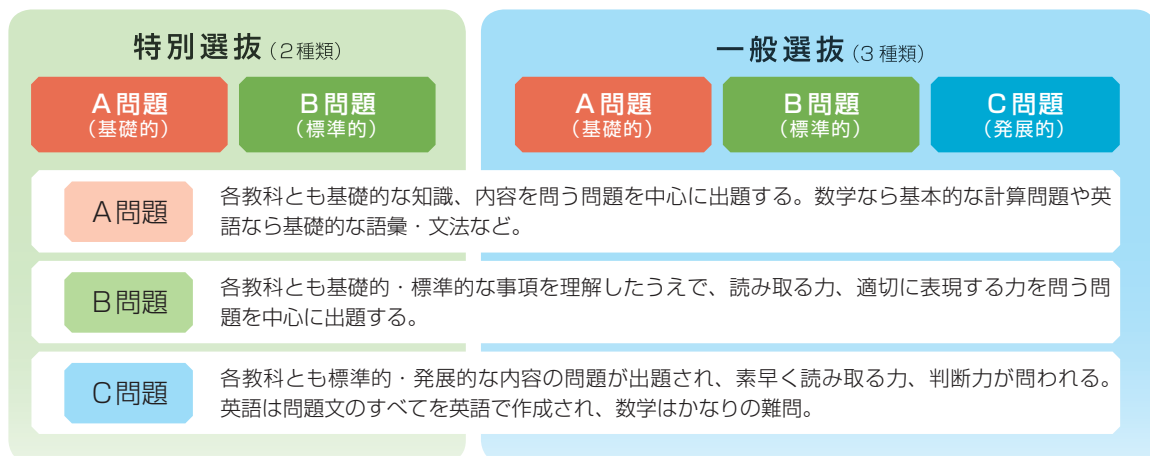
<一般選抜>

時限	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	
教科	国語	数学	英語	理科	社会	
問題	A・B・C	A・B	A・B	リスニング 共通	共通	
時間	50分	50分	40分	15分	40分	
時刻	9:10～ 10:00	10:20～ 11:10	11:30～ 12:10	12:20～ 12:35	13:30～ 14:10	14:30～ 15:10
問題		C	C	リスニング	※数学のC問題は60分。対象校では英語以降の開始時刻が10分ずつ遅くなります。	
時間		60分	30分	25分		
配点	90点	90点	90点	90点	90点	

入学者選抜の概要 (2018年度の場合)

学力検査にはA・B・C問題がある

国語・数学・英語の問題については、2種類(特別選抜)／3種類(一般選抜)が作成され、各高校ではそのいずれかを選択して出題されます。



※英語の学力検査で使用する英単語は、府教委が作成する「大阪版中学校で学ぶ英単語集」の範囲から出題。問題作成にあたっては、学力検査の難易度に応じた単語を使用します。

英語は「外部検定スコア」で点数が保障される

外部検定のスコア等が下記レベル以上の場合、出願時に申請すれば以下の点数を保障。学力検査の点数を上回れば、その点数が採用となります。

外部検定のスコア等			点数	保障点数	
TOEFL iBT	IELTS	英検		特別選抜	一般選抜
60～120点	6.0～9.0	準1級	100%	45点	90点
50～59点	5.5	対応なし	90%	41点	81点
40～49点	5.0	2級	80%	36点	72点

全員、出願時に「自己申告書」の提出が必須！

あらかじめ教育委員会が提示するテーマについて記述し、出願時に提出します。「あなたは、中学校等の生活でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか」といったテーマに対し、できるだけ具体的に記述することがポイント。点数化はされず、また字数の制限もないが1,200字～1,400字程度が想定されています。

複数学科設置校について ～例：箕面・和泉(グローバル科／普通科設置)など

出願は1校1学科等に限りませんが、複数の学科を設置している学校では他の1学科等を第2志望することができます。第2志望の扱いは以下のとおり。

- ①志望学科に関係なく、すべての受験生を総合点順に並べ、上位者からそれぞれの第1志望の学科の合格候補者とする。
- ②1つの学科のボーダーゾーンを含んだ人数が合格候補者で満たされた時点で、その学科の合格者を先に決定する(ボーダーゾーンの扱いについては次ページ参照)。
- ③その時点での合格決定者を除いた者の中から、志望順位に関わらず総合点の上位者から順に、他方の学科の合格者を決定(ただしその学科を志望しない者を除く)。
- ④3つ以上の学科を併置している場合は、同じ手順をくり返す。

各高校では、あらかじめ下記の5タイプからいずれかを選択。高校ごとに決められた比率（学力検査：調査書評価）によって、合否判定のための総合点が算出されます。

特別選抜 総合点 450点満点

学力検査の成績 225点満点
5教科(国社数理英)各45点
※実技検査を行う学科では、上記の得点に実技の得点を加算して総合点とする。

調査書の評価 225点満点
9教科×5段階×各学年倍率

1年	2年	3年
1倍	1倍	3倍

タイプ	①と②の比率	①学力検査の成績にかける倍率	②調査書の評価にかける倍率
I	7:3	1.4倍(315)	0.6倍(135)
II	6:4	1.2倍(270)	0.8倍(180)
III	5:5	1.0倍(225)	1.0倍(225)
IV	4:6	0.8倍(180)	1.2倍(270)
V	3:7	0.6倍(135)	1.4倍(315)

※()内の数値は、倍率をかけた点数。

一般選抜 総合点 900点満点

学力検査の成績 450点満点
5教科(国社数理英)各90点

調査書の評価 450点満点
9教科×5段階×各学年倍率

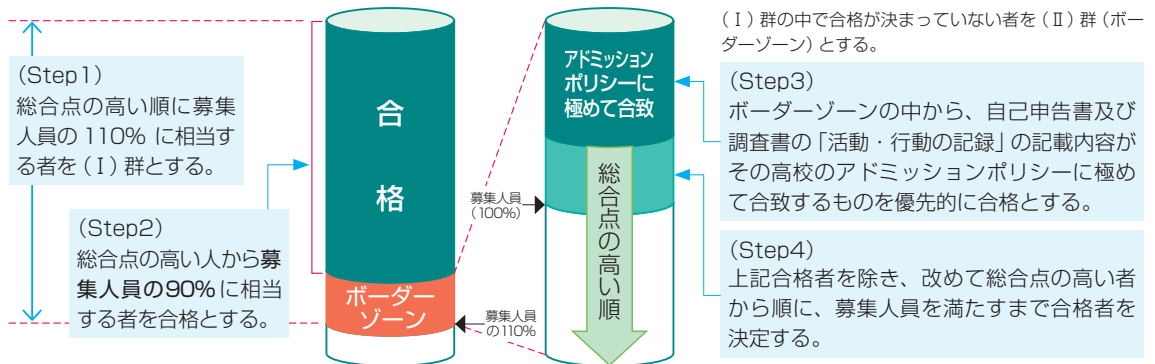
1年	2年	3年
2倍	2倍	6倍

タイプ	①と②の比率	①学力検査の成績にかける倍率	②調査書の評価にかける倍率
I	7:3	1.4倍(630)	0.6倍(270)
II	6:4	1.2倍(540)	0.8倍(360)
III	5:5	1.0倍(450)	1.0倍(450)
IV	4:6	0.8倍(360)	1.2倍(540)
V	3:7	0.6倍(270)	1.4倍(630)

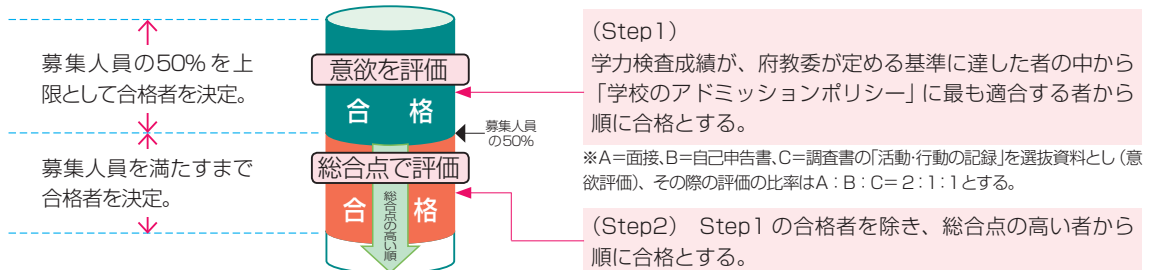
※()内の数値は、倍率をかけた点数。

合否判定の方法

1. 一般選抜(通信制除く)・特別選抜(実技検査実施)



2. 特別選抜(面接実施)



3. 一般選抜(通信制課程)・二次選抜

面接(自己申告書等を参考資料とする)および調査書を総合的に判断し、合格者を決定します。

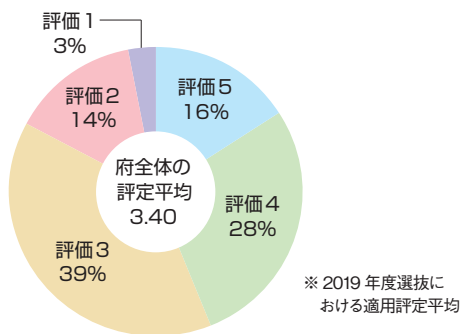
入学者選抜実施要項一覧 ※次年度入試で変更される場合があります。

2018年度入試			学力検査の配点					調査書の配点									実技	面接	作文	小論文	申告書	記録	総合点					
課程・学科等			国	数	英	理	社	計	国	社	数	理	英	音	美	保								技	計			
特別選抜	全日制 専門学科	工業に関する学科(デザイン系)/美術科/総合造形科/音楽科/演劇科	45	45	45	45	45	225	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	225	150					○	○	●	600
		体育に関する学科	45	45	45	45	45	225	25	25	25	25	25	25	25	25	25	225	225					○	○	●	675	
	芸術文化科	45	45	45	45	45	225	25	25	25	25	25	25	25	25	25	225	100					○	○	●	550		
	総合学科	エンパワメントスクール	45	45	45	45	45	225	25	25	25	25	25	25	25	25	25	225		②				①	①	●	450	
		クリエイティブスクール(桃谷) 昼夜間単位制(大阪市立中央)	45	45	45	45	45	225	25	25	25	25	25	25	25	25	25	225		②				①	①	●	450	
大阪府立豊中高校能勢分校選抜		45	45	45	45	45	*525	25	25	25	25	25	25	25	25	25	225	*18					*9	*9		1,050		
	能勢町または豊能町在住者	45	45	45	45	45	225	25	25	25	25	25	25	25	25	25	225	*18					*9	*9		750		
海外から帰国した生徒の入学者選抜			45	45			90												○				参考			90		
中国等帰国生徒及び外国人生徒入学者選抜			45	45			90													○						90		
連携型中高一貫教育に係る入学者選抜								※選抜の資料とするが、配点は定めない、										○		○	参考	参考						
一般選抜	全日制	普通科(単位制含む)/ 専門学科(特別選抜実施 学科除く)/総合学科/ クリエイティブスクール (東住吉総合)	90	90	90	90	90	450	50	50	50	50	50	50	50	50	50	450							○	○	●	900
		クリエイティブスクール(Ⅲ部) 定時制の課程	90	90	90		270	30	30	30	30	30	30	30	30	30	270							○	○	●	540	
		通信制の課程						25	25	25	25	25	25	25	25	25	225		○				参考	参考		225		
二次入学者選抜								※選抜の資料とするが、配点は定めない、										○			参考	参考						

- 総合点の●マークは、各高等学校長が選択した5パターンからのタイプ(学力検査と調査書の比率)の倍率をそれぞれ乗じて合計し、総合点とする。
- 豊中能勢分校の学力検査* 525点(合計225点×7/3)、他項目検査は合計36点に300/36を乗じて300点満点とする。
- 申告書は「自己申告書」、記録は「活動/行動の記録」で、○マークは選抜資料とする(配点は定めない)。②①①は面接:自己申告書:調査書(活動/行動の記録)の評価比率=2:1:1を表している。
- 上記以外に知的障がい生徒自立支援コース選抜(要推薦書)、秋季選抜(クリエイティブスクール(桃谷))がある。また、過年度卒や満21才以上の選抜については別途実施要項がある。

「調査書」の評価対象は、中学の全学年

各教科の評定(5段階評価)について、中学1年からの学習活動を幅広く評価するとともに、中3での学力を重視。評定の比率を3年:2年:1年=3:1:1としています。



府内統一ルール(中3生)

- ① 中学2年生時のチャレンジテストによる検証をもとに、府全体の「評定平均」を計算する。
府全体評定平均 $3.40 = 5(評定) \times 16\% + 4 \times 28\% + 3 \times 39\% + 2 \times 14\% + 1 \times 3\%$
 - ② 30年度に実施する「府内中3生チャレンジテスト」における当該校の平均正答率と府全体との比
B中学校の場合
 $63.0\% \div 60\% = 1.05$
 - ③ 当該校の「評定平均のめやす」を計算する
B中学校の場合
 $3.40 \times 1.05 = 3.57$
 - ④ 評定平均のめやす ± 0.3 を当該校の「評定平均の範囲」とし、9教科のトータルの評定平均を範囲内で確定する。
B中学校の場合
 $3.27 \sim (-0.3) 3.57 (+0.3) \sim 3.87$
- ※平均正答率は仮定した場合の数値。

A中学校	府全体	B中学校
57.0%	60.0%	63.0%
0.95	1とする	1.05
3.23	3.40	3.57

2.93 ~ 3.53 の範囲内

3.27 ~ 3.87 の範囲内

※平均正答率は仮定した場合の数値。